

事務事業チェックシート

事務事業No **366** 事業名 **育児支援事業（育児サークル等の開催）**

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	2	母子保健対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		母子衛生費
	大事業		母子衛生事業
	事項		育児支援事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	地域保健医療計画、次世代育成支援行動計画	
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	川口隆弘 (488-5119)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	乳幼児を持つ保育者及び妊婦やそのパートナーの育児不安を軽減し、前向きに育児ができることを目指す。地域の横のつながりを強めることで、市民全体の育児向上を図る。	（赤ちゃん広場）生後2～5か月頃の児とその保育者を対象に、保健師・栄養士の保健指導、グループワークや妊婦との交流を実施する。 （0歳児交流会）0歳児とその保育者を対象に、保育士の育児指導や保健師・栄養士・歯科衛生士の保健指導をおこなう。 （多胎児交流会）多胎児とその保育者及び多胎妊婦を対象に、交流会等を実施する。 （読み聞かせ）10か月児健康診査等の受診者と保育者を対象に読み聞かせを実施する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		育児支援事業の実施 （赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会） 地域の育児環境整備の実施 （主任児童委員交流会） 10か月児健康診査等の受診者と保育者を対象に、読み聞かせ実施と情報提供を行う。	育児支援事業の実施 （赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会） 地域の育児環境整備の実施 （主任児童委員交流会） 10か月児健康診査等の受診者と保育者を対象に、読み聞かせ実施と情報提供を行う。	育児支援事業の実施 （赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会） 地域の育児環境整備の実施 （主任児童委員交流会） 10か月児健康診査等の受診者と保育者を対象に、読み聞かせ実施と情報提供を行う。	育児支援事業の実施 （赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会） 地域の育児環境整備の実施 （主任児童委員交流会） 10か月児健康診査等の受診者と保育者を対象に、読み聞かせ実施と情報提供を行う。	育児支援事業の実施 （赤ちゃん広場、0歳児交流会、多胎児交流会、地区民生児童委員主催の交流会、地域子育て支援センター主催の交流会、つどいの広場主催の交流会） 地域の育児環境整備の実施 （主任児童委員交流会） 10か月児健康診査等の受診者と保育者を対象に、読み聞かせ実施と情報提供を行う。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	717	659	247	200	246		246		246	
伸び率 (%)	-	-	-65.6%		-0.4%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	8,170	8,170	7,231	7,231		7,231		7,231	
	非常勤職員	830	830	1,072	1,072		1,072		1,072	
	小計	9,000	9,000	8,303	8,303		8,303		8,303	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	717	659	247	200	246		246		246	
所要人数	常勤職員	1.08	1.08	0.97	0.97		0.97		0.97	
	非常勤職員	0.39	0.39	0.55	0.55		0.55		0.55	
主な予算内訳	報償金124千円、消耗品費65千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	開催回数 〔育児支援事業（主催型・要請型）、地域の育児環境整備の実施〕	年度目標値	150	150	150	150	150			
		実績値	126	121						
	読み聞かせ実施回数	年度目標値	84	85	96	96	96			
		実績値	84	85						
成果指標	参加者の満足度〔育児支援事業(主催型)〕	年度目標値	100	100	100	100	100			
		実績値	93.6	96.2						
	安心して育児ができている人の割合	年度目標値	75	75	75	75	75			
		実績値	55.3	78.7						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>「参加者の満足度」と「安心して育児ができる人の割合」は前年度と比較すると増加している。子育ての現状が複雑多様化している中、保育者の育児不安や子育ての孤立化を防ぎ、増加しているニーズにも対応できるよう本事業の充実を図っていく必要がある。また、地域子育て支援センター、地区民生児童委員や主任児童委員と協働して地域の育児環境整備に取り組んでいく必要がある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>参加者の満足度は高い。 NPO等が同様の事業を行っており、情報提供も重要</p>